

トピックス **プラス**

12/23

写真で豊かな沼の自然環境を学ぶ

写真展「ラムサール条約指定『伊豆沼・内沼』の四季」が、伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターで2月28日まで開催されています。12月23日にはオープニングセレモニーが催され、大勢の人が来館しました。展示されている作品は、平成3年から実施しているフォトコンテストの入賞作品。写真を通しハクチョウなどが生息する沼の自然が学べます。



▲伊豆沼・内沼の自然を写真を通して学ぶ来館者

12/25

的確な判断と素早い行動で救助

事業所、消防団、消防署の合同による火災防御訓練を12月25日、ホテルニューグランヴィアで実施し、関係者約80人が参加しました。訓練は3階客室からの火災発生を想定して実施。従業員は消防署へ素早く通報し、宿泊客に扮した署員を安全な場所へ避難誘導させました。また、迫町消防団の団員は、足を骨折した負傷者を敏速に救助しました。



▲避難中に足を骨折した負傷者の救助を指示する署員

1/5

天まで届くたこを作ったよ

たこ作り、たこ揚げ教室が1月5日、南方子育てサポートセンターで行われ、放課後児童クラブ（小学1～3年生）の児童11人が参加しました。子どもたちは、思い思いのイラストを描いた和紙と竹ひごを使って製作。初めての体験に苦戦しながらもオリジナルのたこを完成させました。その後、たこ揚げにも挑戦し上手に揚げることができました。



▲苦戦しながらも竹ひごを使って製作する子どもたち

1/13

好きだったらいつまでも挑戦を

新春スポーツ講演会が1月13日、登米祝祭劇場で開催され、市内の住民、体育団体関係者、スポ少野球団員ら約250人が聴講しました。講師は元プロ野球選手で、NHKプロ野球解説者の与田剛さん。「私の野球人生」と題し、社会人野球部を経てプロ入りするまでの生い立ちや、右ひじ手術のけがから逆境を乗り越えて復帰したことなどを話しました。

▲現役当時157⁺の日本最速記録を作った与田さん**冬** 石越でどんと祭と冬の花火
空に1,000発の大輪の花

「石越冬のまつり～どんと祭と冬の花火（同まつり奉賛会主催）」が1月14日、石越総合運動公園で催され、市内外から約5,000人が訪れました。祭りは神事の後、各家庭などから持ち込まれたお札や正月飾りへ御神火で点火。特設ステージでは、演歌歌手の笠原みほさん（加美町出身）の歌謡ショーやよさこい踊り、和太鼓演奏、縁起福もちまきなどで祭りを盛り上げました。目玉である打上げ花火では、市民のさまざまな願いが込められた花火約1,000発が上がり、澄みきった冬の夜空に大輪の花を咲かせました。



▲花火やよさこい踊り、和太鼓演奏などで盛り上がった「冬のまつり」



▲消防車両とともに米山町内の市街地を威風堂々と行進する消防団員

火 米山で消防団出初め式
災予防と防災を誓う

米山町消防団出初め式が1月7日、米山中学校体育館で催されました。街頭行進には消防団員、婦人防火クラブ員ら約300人が参加。消防車両とともに、米山郵便局付近から米山中学校までの道を、ラッパ隊の演奏に合わせて行進をしました。式典では、佐々木消防長が「これからは、地域の防災行動力を高めることが消防活動にとって最も重要です」と式辞を述べました。また、永年、地域の安心・安全の確保に貢献した団員に表彰状や感謝状が贈られ、今年の火災予防と防災を新たに誓いました。

年 登米で新春懇談会
初めに地域の課題を語る

恒例となった登米地区の新春懇談会が1月12日、登米観光物産センター「遠山之里」で開催され、地域住民や各種団体、事業所などから約90人が参加しました。懇談会では基調講演も行われ、布施市長が「登米市のまちづくりについて」と題して講演。市内の病院の医師不足問題や農業・教育・観光など、今後のまちづくりについての展望を語りました。講演後は参加者同士で地域の課題や今年の抱負など、さまざまな話題で懇談。終始和やかなムードで親交を深めました。



▲布施市長が講師となって基調講演した登米地区の新春懇談会